

研究成果情報	園芸	1	野菜	システム開発
新技術・情報名	省力化・軽作業化を目的としたいちご棚式育苗システム用機材の開発		分類	③

1 成果の内容

1) 技術・情報の内容及び特徴

いちごの育苗管理は、4カ月間の育苗期間中に取り扱う培土量が極めて多く、重労働であることや窮屈な作業姿勢を強いられることから、従来のポット育苗と同等の苗質で、扱う培土量が少なく、楽な姿勢で育苗管理作業が出来る新しい育苗システム用の機材を開発した。

- (1) 育苗用ポット：材質は耐候剤の入ったポリプロピレン樹脂(PP)製プラスチックで、射出成形品である。大きさは内径40mm、長さ150mm、容量115ccのテーパのついた円筒形とした。
- (2) 育苗用パネル：集水機能及び遮熱機能を有するアクリロニトリルEPDMスチレン樹脂(AES)製プラスチックで、真空成形品である。1枚の大きさが120cm×90cmで、ポットの入る穴のあいたトレイが、15cm間隔で計48個(8×6穴)並んだパネルとした。
- (3) パネル支持用架台：ワンタッチで組み立てできるように工夫した、樹脂コーティングのパイプで、脚部と直管受け横棒からなる。地上からパネル面までの高さは70cmとした。
- (4) その他、直管やパネルを固定するための資材は市販品を利用する。

2) 技術・情報の適用効果

いちご育苗の大幅な省力化及び軽作業化が可能となる。

3) 適用範囲

県内全域

4) 成果の利活用・普及指導上の留意点

- (1) 育苗期間中の雨よけや遮光が出来る施設内に設置する。
- (2) 本システムに適用する、より効果的な育苗技術を早急に確立する。

2 具体的データ

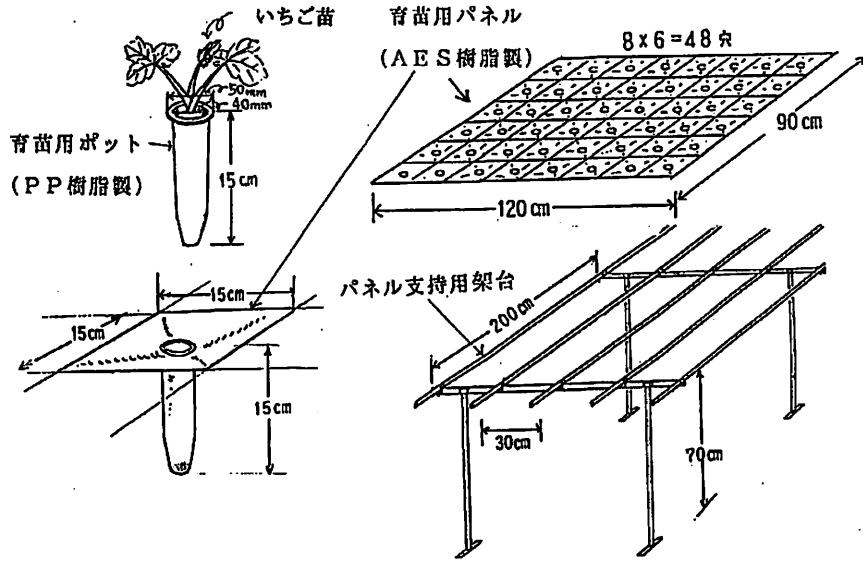


図1 棚式育苗システムの育苗用ポット、パネル及び支持用架台

表1 ポットの比較

名称	形状	容量 cc	上部		耐風 性	作業 性	総合 評価
			口径 mm	長さ mm			
丸型15	円筒	115	40	150	良好	良好	◎
丸型18	円筒	150	40	180	良好	不良	△
角型	四角錐	100	45	100	不良	不良	△
4寸ポット	-	700	120	100	-	-	-

注) ①作業性: 用土詰め、運搬、収納性
②総合評価: ◎; 実用化可、△; 実用化やや難

表2 パネルの材質比較

材質	強度	耐暑 性	耐寒 性	耐用 年数	総合 評価
AES	極良	極良	極良	5年	◎
ABS	極良	良	良	1年	△
PP	良	良	不良	1年	×
塩ビ	不良	不良	不良	1年	×

注) ①耐用年数: メーカー保証年数

②総合評価: ◎; 実用化可、△; 実用化やや難、×; 実用化不可

③材質: AES; アクリロニトリル EPDM スチレン樹脂
ABS; アクリロニトリル ブタジエン スチレン樹脂
PP; ポリプロピレン樹脂
塩ビ; ビニルクロライド樹脂 (PVC)

3 その他特記事項

担当部科室名: 園芸研究所野菜花き部野菜品種研究室

研究担当者名: 伏原 肇、林 三徳、柴戸靖志

研究課題名: イチゴの棚式育苗システムの開発

期 間: 平成3年

予算区分: 経常

既発表論文・資料名等: 園芸学会雑誌61別冊2(1992)

取りまとめ責任者名: 伏原 肇